

		チェック項目	はい	どちらでもない いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・デイ、学童の部屋、調理室、活動室(2階)、園庭と施設にはめぐまれている。 ・やや狭い気がする ・宿題をするテーブルは一人ずつの確保があるし、しっかり静かにできる様スペースができています。 ・分散している。 ・定員に対して支援室の広さは、制度に基づいている。 ・活動では更に学童保育室も使用しており、他にも調理室や訓練室も活用している。
	②	職員配置数は適切であるか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、児童発達支援管理責任者、児童指導員、加配職員等の人数は制度に・突発的な対応時には不足 ・移動時、声を掛け合っているので必ず職員を部屋にいる様にしている。 ・常に適切な人数で迎えに行ったり、配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・館内全体が0～100歳までの方や障害のある方などが利用する為、バリアフリーについて適切と思われる。 ・エレベーターがあり、段差がない。 ・車いすで入れるトイレがある。 ・手すりやエレベーターあり。車いすの方、体が不自由な方、ご高齢の方も生活できる建物である。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・問題、困り事などはその都度、相談・話し合いを行い、改善策を考えている。 ・行事ごとに機会が設けられ、盛んになされている。 ・必ず参画する様声をかけてくれる。 ・月1回のミーティング ・定期的にミーティングがあり、すべての職員が参画している。 ・全職員で意見を出し合い参画している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者より意見があった際は、その意見を受け止め、改善すべき事は改善策を考え実行している。 ・アンケートをとっている。 ・無記名のアンケートだからこそ、普段できないご意見を聞くことができる機会と捉えている。 ・真摯に受け止め業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・公開している。 ・毎年、年度末に公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや研修で意見をいただいている。 ・評価分からないが、外部講師の研修はある。 ・外部評価は受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な研修会への参加の機会がある。 ・研修に参加した事がある。 ・研修の機会あり、受け入れている。 ・常に研修がある。 ・確保のタイミングを考えているが、各職員に適切な研修を見つける事に苦戦しており、かたよりがある。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員から児童のストロングポイントを集め、話し合いで意見を出してもらい支援計画に落とし込んでいる。 ・ストロングポイントを全員が書き提出、関係者が保護者、子どもと面談し個別支援計画を立てている。 ・常勤職員が担当している。 ・半年に一度ストロングポイントを書き話し合いを行っている。 ・している。子どもの強みを書いている。 ・作成されている。 ・子どものストロングポイントをみんなで出し合ったり、ミーティングで問題点などを話し合ったりして、計画を作成している。 ・利用者本人や保護者の意見や気持ちを確認した上で計画を作成している。 ・全職員からストロングポイントを集めた上で計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	1	⑨で適切なアセスメントが出来ている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が担当している。 ・一日の活動内容は作成され、確認できる。 ・チームで立案している。 ・常勤職員で話し合い立案しており、非常勤職員に共有している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても放課後という時間の関係で同じプログラムになることはあるが、児童の状態により個別に関わったり、休日等のイベントはかわらず続けている安心感のあるプログラムと新しいプログラムを取り入れている。 ・色々考えられているがなかなか難しい。 ・状態、活動を見守り、得意な事を見つけられるといい。 ・工夫されている。 ・子どもの状態に合わせて活動内容を変えている。 ・平日は“放課後”という限られた時間の中であるが、利用者のやりたい事が選択肢の中から選べるように考えている。 ・学校休業日は、社会的マナーや経験を積み重ねられる活動を考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・特に夏期休暇については細かいプログラムを設定して支援をしている。 ・常勤が主であるが、きちんとなされている。 ・本人の課題を様々な角度からアプローチ、サポートできるよう計画している。 ・時間が多く取れる日は、外出等頻繁に行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・社会性やコミュニケーションを重視しているため、基本は集団活動ではあるが、本人の様子やその日の情緒に合わせて個別活動ができるように考えている。 ・常勤が主であるが、きちんとなされている。 ・日常の観察を怠らない。 ・個別活動の宿題や集団活動の外遊びでは毎回組み合わせている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・1日メモ ・職員間での確認は取っている。 ・書面または口頭でのやり取りあり。 ・1日メモで共有したり、いつもと違う事があれば口頭で伝えている ・支援開始時刻が異なるため、紙面に支援内容や役割を確認している。 ・支援開始前には予定表が貼りだされ、職員の役割分担が確認できるようになっている。

適切な支援の提供

適切な支援の提供	①6	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌 ・日誌記入時間があり、気になる事はその場でも伝えるようにしている。 ・支援終了後及び支援中にも振り返りを行い、気付いた点を共有している。 ・日誌にて一人ひとりが振り返りをしている。重要事項や気になる出来事があると直接、口頭でやりとりする。 ・全員で集まる事は難しいが、気になる点や困り事や共有しておいた方が良い事は伝え、記録、翌日の一日メモに残す。 ・職員の帰宅時間が一緒でないので後日になる事が多い。 ・振り返りをその日か難しかったらミーティングの時にしている。 	
	①7	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・日誌を毎日記入。 ・記録の時間はしっかりとある。 ・記録を毎日必ずしている。 ・かなりきちんとなされている。 ・定期的に(新しい職員が入った時など)に記録の書き方の伝えを行っている。 ・日誌を全職員が記入するようにしている。そこから、ヒヤリハット、ニコリハット、インクルーシブな関わりを抽出している。 ・日々支援記録を残し、ヒヤリハット事案の集計等を改善に繋げている。 	
	①8	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画に見直しの必要性を判断しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の日々の記録を集め、まとめている。 ・年2回、前期と後期 ・年2回のモニタリングは必須で行っている。 ・他、月1回の職員ミーティングで子どもの困り感を話し合い支援方法を模索し検討している。 ・かなりきちんとなされている。 ・記録を細かくしている。 ・半年に一度ストロングポイント記入、個別話し合いを行う。 	
	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域にて計画を立てている。 ・地域交流は頻繁に行っている。 	
関係機関や保護者との連携	②0	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に精通しているものが参画している。 ・管理者や直接支援員(児童指導員)が参加している。 ・しております。 	
	②1	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・常勤が主であるがきちんとなされている。 ・近隣小学校とは些細な出来事も毎日共有している。他小学校も年間予定の共有や行事の行き来、面談同席をさせてもらっている。 ・日常から連絡を取り合っている。トライアングルプロジェクト、面談の参加など。 ・常に学校と情報を共有し、オンタイムで対応している。 ・先生とは送迎の時に取り合ったり、電話連絡をしている。 ・毎日(営業日)学校への迎え、運動会、授業参観への参加 	
	②2	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケアが必要な子どもを受け入れていない為、分からない。 ・今は対象児童がいない。 ・必要な児童がいない。 ・保護者との連携は必ずとる。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・入会前には保育園等に見学へ行き、児童の様子を見せていただき、支援のアドバイスをもらっている。(保護者の了承の基) ・主に同法人認定こども園とは密になされている。 ・認定こども園と同じ建物で情報共有と相互理解に努めやすい環境にある。 	
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービスから所外福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っているが、卒会後にまた福祉サービスに繋がるケースがまた増えてきている。 	

	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関と連携をすることはあるが研修にははいたっていない。 ・支援事業所と同じ建物にある為、助言を受けやすい環境にある
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育と日常的に活動している。 ・学童保育と一緒に活動している。 ・インクルーシブである。日常のやり取りがあり、活動によって児童の成長が見られる。 ・学童と毎日、している。 ・毎日一緒に活動している。その中で生まれる人間関係ややり取りから子ども同士が社会性を学べる機会を提供している
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市の障害児通所支援事業所連絡会には毎回1~2名の職員で参加している。 ・参画している。
	②8	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。 ・お迎え時や連絡帳での伝え合い。 ・送迎の際に伝え合うことを心がけているが、全家庭に満足していただけているか自信がない。 ・まめに行っている。 ・日々状況を保護者に伝えている。 ・お迎え時その日の出来事等の伝えを行い、会話の中から家庭の状況を知る。 ・保護者と納得に状況を伝え合っている。
	②9	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは行えていないが、親子イベントを年に数回(今年度は4回)計画し、保護者も楽しみ、子どもの成長と一緒に確認し合える機会を提供している。 ・保護者への各種の研修会等の紹介はしている。 ・ペアレントトレーニングの実施に向けて職員の研修会はあったが、保護者に対しての実施には至っていない。
保護者への説明責任	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会を実施し、説明している。 ・入会時、更に年度初めに必ずお集まりいただき、ご家庭と職員で読み合わせをし確認合っている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの質問等は丁寧に伝えている。 ・支援事業所と連携し、保護者からの相談に応じている。 ・迎え時やメール、電話、連絡帳などでやりとり出来るツールを整えている。更に必要に応じて面談もあり。
	③2	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会がある。家庭への負担が軽減されるように参加方法が選択できるようになっている。 ・保護者会や家族イベントが年に何回もある。 ・親子行事の実施において、各家庭を結び付ける ・父母の会の活動には必ず職員が関わっている。 ・しっかりなされている。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりなされている。 ・日々報告 ・常々問題があった時、迅速かつ適切に対応している。 ・苦情解決窓口が整っている。
	③4	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・月の予定を知らせている ・会報ではないが、掲示板や手紙、メールで予定をお伝えし、行事後も様子の発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・時より児童の前で記録を取る事があり、気を付けたい。 ・事務所内から書類を出さない。職員の意識が高い。 ・事務所で閲覧 ・個人情報事務室内で閲覧 ・名前のリストなどは常にシュレッダーにかけている。

	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性やご家族の状況に合わせて配慮しながら意思疎通をはかっている。 ・絵カードなどを使う事もある。 ・お迎えの時、一日の出来事をお伝えしている。 ・言葉を気を付けている。 ・徹底している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方が先生として行っている手芸クラブやおやつボランティアやお話会、ハロウィンも協力を得ている。 ・クリスマス会、卒会式、入会式に地域の方を招待している。 ・挨拶等はしている。祭りに参加。 ・徹底している。 ・クリスマス会に招待している。 ・ハロウィンやおやつ作り。サークル活動等、地域の方に協力していただいている。 ・地域住民を招待する行事が年にある。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応マニュアルがあり、周知している。 ・毎年、年度始めに配布と説明をしている。 ・安全係から発信して行っている。 ・係があり、月1ミーティングでも話し合いがなされている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・安全係を中心にきりんとしての訓練や社会館の訓練に参加している。 ・定期的に避難訓練を実施している。 ・係があり、訓練が定期的になされている。 ・安全係から発信して訓練に参加している。 ・行われている。 ・国で定められている回数より多く行っている。 ・定期的に避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市の虐待防止研修を受け、館内で伝達研修を実施 ・虐待防止研修を受けたことがある ・毎年、研修に参加し、法人内伝達研修を行っている。 ・研修には必ず参加している。 ・研修が定期的にある。 ・館内全体で行われる虐待防止の研修会に参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて計画に取り入れており、必ず保護者に事前に説明し、了承を得ている。 ・拘束を必要とする児童がいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにどのアレルギーがあるか把握している。 ・現在、医師との連携は行っていないが、必要に応じて対応する。 ・重篤なアレルギーの児童はおらず、配慮はされている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・日誌にヒヤリハットを記入する欄あり ・日誌に記載し、職員全員に知らせるようにしている。 ・また、月1回のミーティングで共有している。 ・係があり、月1のミーティングで集計、報告がある。 ・記録のチェックをしてミーティングの時に報告している。 ・安全係が中心となって事例集を作り、全員で共有している。 ・日誌から事例を取り上げて、月1回のミーティングで共有。 ・日々の記録からヒヤリハットを集計し共有している。